



**今週は、体験入部期間でした。**

「1年生が部活を見に来てくれた」と2・3年生が話してくれました。上級生としてはうれしいことでしょうし、部内にもおのずと活気が生まれてくるものと思います。

部活動の意義は、単に「競技力の向上」だけではありません。例えば、次のようなことも挙げられます。

**1 「非認知能力」と人間的成長の場となる**

目標に向かって試行錯誤することで、自己調整力や、困難に直面した際の対応力を養うことができます。また、学級や学年の枠をこえた集団の中で、責任感、連帯感、社会性といった資質を育む機会にもなります。

**2 「心理的安全性」のある居場所になる**

教室とは異なる、共通の趣味・特技を持つ仲間との「ゆるやかな絆」が、メンタルヘルスを支えるセーフティネットになります。自己肯定感の向上や多様な価値観に触れる機会につながります。

串高の入部率は高くはありませんが、一般的に部活動でよく見られる「結果主義」や「やらされている」感が薄いのが、本校の特色だと言えます。保護者世代が高校生の頃のスポ根ドラマのような、監督からのゲキを受けて「歯を食いしばって耐える」姿を見ることはありません。全国レベルのアーチェリー部でさえ、そのように感じます。活動する目的が個々にあり、「計画的に」「自分で考え」「楽しみながら粘り強く取り組む」姿勢こそが、今の時代にマッチした部活動マインドなのではないかと考えます。また、スポーツや文化活動を主体的に楽しむことは、生涯学習・生涯スポーツの基礎となります。さらには、小規模校だからこそ1年生から大会に出場できる環境にあたり、他校と合同チームを構成したりするというのも、生徒たちにとっては貴重な経験につながっていると感じているところです。

**15日(水)から三者面談、家庭訪問を実施中。**

保護者の皆さまには、ご対応いただきありがとうございます。お子さんの家庭での様子や個性を共有し、「信頼関係の土台」を築くことを目的に、21(火)まで実施しています。早期の課題発見や目標共有を通じて、学校と家庭が足並みを揃え、これから一年間の、お子さんの成長を支える協力体制を整えていきたいと思ひます。



**バス停の名称が変わりました**

先日、串高最寄りのバス停の標識がキレイになっていることに気づき、よくよく見ると……表記が「さのさ荘入口」から「串木野高校入口」に変わっていました！鹿児島交通のHPで確認したところ、4月からのダイヤ改正に併せて名称が変更されたようです。校名がバス停になったことで、今まで以上に地域に認められ、愛着を持っていただける学校にしていきたいと思ひました。

インスタもご覧ください。串木野高校頑張っています(文責 立森)